

2019 年度第 6 回環境科学部環境フィールドスクール「救急救命を学び、長崎大水害を振り返る」が行われました。

2019 年度第 6 回環境科学部環境フィールドスクール「救急救命を学び、長崎大水害を振り返る」が 10 月 26 日（土）に行われました。

学生たちは長崎市消防局（長崎市興善町）を訪問し、救急救命講習を受講すると同時に、1982 年に発生した市役所 OB から、当時の様子や被災後の中島川の河川工事、近年、頻発している豪雨に対する長崎での洪水や土砂災害の可能性について説明を受けました。今後懸念される豪雨災害に対して、AED も含めた個人が備えるべき最低限の救急救命方法について体得すると同時に、長崎でも生じうる豪雨災害への理解を深めました。



救急救命講習の様子



長崎大水害に関する講演の様子